

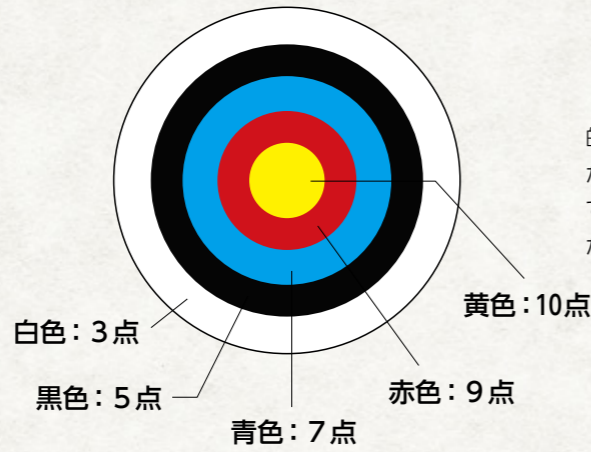


近的

近的競技は的までの距離が28メートルで的の直径は36センチ。この的は「霽的」といいます。近的は的的中数を競うので的のどこにあたって1点、当たらなければ得点なしとなります。

弦音 ~つるね~

矢を放ったとき、弦が弓を打つと鳴る音。正しい射を行えたときは高く短い音を発します。また、弦音は邪気を払うともいわれています。



遠的

遠的競技は60メートル先の直径1メートルの的を狙います。この的は「得点的」といいます。色分けがされていて当たった場所によって点数が決まり、合計得点で勝敗が決まります。

弓

基本の長さは221センチ(7尺3寸)ですが、射手(弓を引く人)の身長や競技の種類で長短が変わります。

弦(つる)

弓の長さに合わせて弦にも長短があります。切れることを想定して必ず予備の弦が作られます。

矢

矢のサイズは人によって異なり、弓の強さや競技によってもサイズや素材が変わります。3枚の羽根にはそれぞれ名称があり、弦につがえる向きが決まっています。

弓道着

上衣の袖の長さは腕を伸ばしたときに肘にかかるかかからないかぐらいが適切とされており、袴は馬乗袴が好ましいといわれています。

かけ

鹿革製で右手にはめる手袋のようなもの。弦から親指を保護するもので、保護する指の本数で「三つがけ」「四つがけ」と2種類あります。

弓道の魅力

本市の正式競技

宮崎県国スポ

2027年



紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会

弓道——。和弓を使つて的に矢を射る日本古来の武道の一つです。弓を引き絞り、的に向かつて矢を放つ。単純な動きのように見えて、実は8つの基本動作(射法八節)があります。この動作を守り、流れに沿って行うことで正しく射を射抜くことができます。矢の行き先は自身の精神状態に大きく左右されやすく、高い集中力が要求されます。よって技術的な部分はもちろん、あらゆる状況でも平常心を保つための精神的な強さを養うことができます。単なるスポーツとしてだけでなく、心身の鍛錬という側面も持ち合わせていて、そこに弓道のおもしろさや醍醐味があります。体格や力などを考慮して自分に合った弓を選ぶことができ、老若男女を問わず楽しむことができるのも大きな特徴です。2027年、「第81回国民スポーツ大会(以下、国スポ)」が宮崎県で48年ぶりに開催され、本市では「弓道」が正式競技の一つとして実施予定です。今回、弓道の魅力に迫ります。